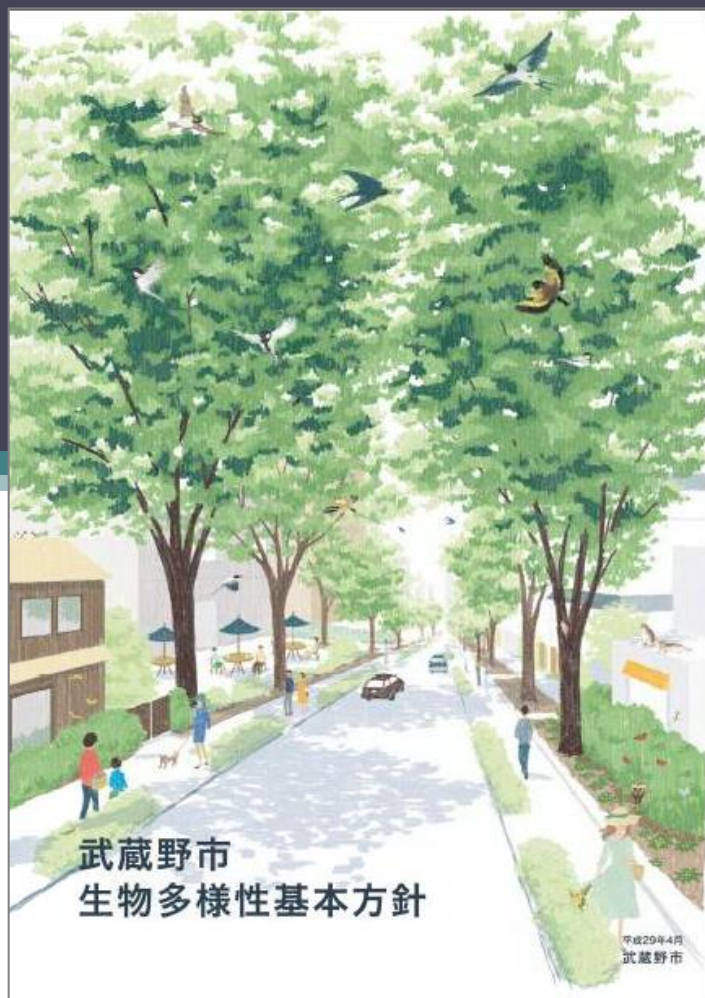


第10期環境市民会議（第9回）



武蔵野市 生物多様性基本方針 の策定について

武蔵野市 環境部 環境政策課

<資料3>

平成31年3月22日

環境市民会議資料

1、策定の背景

2、本市の概況

3、これまでの生物関連施策

4、策定のプロセス

5、基本方針の内容

6、策定後の動き

1、策定の背景

- ◆生物多様性の保全に対する社会的な機運の高まり
例) 生物多様性条約 生物多様性基本法 愛知目標 etc..
 - ◆武蔵野市第四期環境基本計画(H28年度～H32年度)
に策定を明記
- ※生物多様性基本法 第13条が規定する「生物多様性地域戦略」の
位置づけとして策定

- 1、策定の背景
- 2、本市の概況**
- 3、これまでの生物関連施策
- 4、策定のプロセス
- 5、基本方針の内容
- 6、策定後の動き

2、本市の概況(1)

- ・ 北西部に都立小金井公園、南東部に都立井の頭恩賜公園
- ・ 玉川上水、千川上水が市を横断



図：緑被分布図（平成28年度）を基に作成

2、本市の概況(2)

【地形】 東西6.4km、南北3.1km、面積 10.98km²
武蔵野台地、表層:ローム層、下層:礫層
概ね平坦な地形

【人口】 146,399人 (H31.1.1現在)

【土地利用】

- ・市全域が既成市街地、7割以上が宅地利用
- ・緑被率：24.3% (H28年度)

- 1、策定の背景
- 2、本市の概況
- 3、これまでの生物関連施策**
- 4、策定のプロセス
- 5、基本方針の内容
- 6、策定後の動き

3、これまでの生物関連施策(1)

◆長期計画 (S46～)

…S46策定の第一期の計画において「緑のネットワーク計画」を重要施策の一つとして位置づけ

◆緑の基本計画 (H8～)

…「緑の量、質ともに豊かな武蔵野市」を目指すべき将来像として位置づけ

⇒具体的施策の一つとしての「ビオトープ整備事業」

3、これまでの生物関連施策(2)

◆ 関前公園のかいぼり（観察会）の実施（H8～）

- ・ 自然と触れ合う機会の提供
- ・ 生物の繁殖状況の観察
- ・ ヘドロの除去や水草の整理
- ・ 外来生物等の除去



↑ 「トンボ池」でのかいぼりの様子

3、これまでの生物関連施策(3)

◆むさしの自然観察園の整備 (H17 開園)

- ・身近な自然の回復を行う市内の拠点
- ・自然に関心のある人に自然環境を学ぶ場の提供

* NPO法人「武蔵野自然塾」に維持管理を委託

* 自然体験イベントの実施 (月2~3回)
例) ホタルの観察会 (6月頃)



↑ 自然観察園のホタル池

3、これまでの生物関連施策(4)

◆市内小学校のビオトープの整備 (H10~17)

- ・ 自然環境教育の場の提供、
環境学習の推進
- * 市内公立小学校12校全て
に整備
- * 小学3年生対象に漫画による
教材(小冊子)を配布



- 1、策定の背景
- 2、本市の概況
- 3、これまでの生物関連施策
- 4、策定のプロセス**
- 5、基本方針の内容
- 6、策定後の動き

4、策定のプロセス

◆策定する目的の明確化

…「環境市民会議（第9期）」の議論を経て、明確化

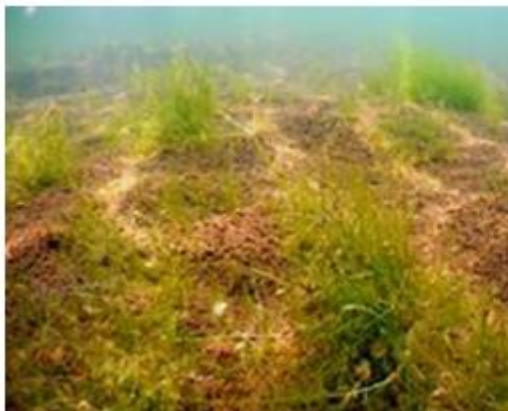
- ①武蔵野市の生物多様性の現状、課題、目指すまちの姿を明らかにする
- ②生物多様性に係る施策を体系化し、総合的かつ計画的に推進する
- ③生物多様性の意義や具体的対策等を広く市民等に啓発する

- 1、策定の背景
- 2、本市の概況
- 3、これまでの生物関連施策
- 4、策定のプロセス
- 5、基本方針の内容**
- 6、策定後の動き

5、基本方針の内容(1)

◆「第1章 生物多様性とは」

定義や「生態系サービス」等一般的な事項を紹介
⇒抽象的な表現にならないよう、市の事例を使って、
市民に身近な事象と感じてもらえるよう工夫



イノカシラフラスコモ
(写真提供：東京都建設局)



ムラサキ (市の花)

←種の多様性の
具体例として紹介

5、基本方針の内容(2)

◆ 「第3章 武蔵野市の生物多様性の現状」

(1) 3つの視点からの現状分析

【歴史】

「雑木林」 「緑被率減少」 「市民協働による自然再生」

【地域】

公園・緑道等で形成される「生態系ネットワーク」

【生物種】

過去に実施した生物生息状況調査の分析

5、基本方針の内容(3)

◆「第3章 武蔵野市の生物多様性の現状」

(2) 本市の「強み・機会と弱み・課題」の洗い出し

【強み・機会】

- ①人間と自然の共生
- ②ネットワーク構築に必要な素地
- ③保全に取り組む市民等の活力
- ④文化、精神的サービスの充実

【弱み・課題】

- ①自然環境の量・質的な低下
- ②種類や地域の偏り
- ③侵略的外来種の脅威
- ④他自治体との連携の必要性

5、基本方針の内容(4)

◆「第4章 生物多様性の保全に向けて」

…3つの「目指すまちの姿」を掲げたうえで、その実現に向けた3つの「方針」に基づき、各施策を展開。
また、一人ひとりができる「取り組み例」を提示。

【目指すまちの姿】

- ①人間と自然が調和する武蔵野市らしい生物多様性を守り育てるまち
- ②武蔵野市の生物多様性の多面性を理解し、発信するまち
- ③様々な主体が自発的に行動し、積極的に連携するまち

5、基本方針の内容(5)

【目指すまちの姿①】

人間と自然が調和する
武蔵野市らしい生物多様性を
守り、育てるまち

方針Ⅰ まもる・そだてる

- 生物多様性施策の推進
- 気候変動対策の推進
- 緑化の推進
- 水辺環境の整備及び水循環の推進
- 市外における森林整備等の推進
- 農地保全の推進

たとえば・・・ 身の周りを緑化する

家や職場等、
身近なところを生物多様性
に配慮して緑化すること
により、人間が憩いの場を得
るとともに、地域の生きもの
のすみかを増やすことがで
きます。



5、基本方針の内容(6)

【目指すまちの姿②】

武蔵野市の生物多様性の多面性を
理解し、発信するまち



方針Ⅱ

わかる・つたえる

- 自然環境に関する情報発信の推進
- 自然体験事業の推進
- 自然環境教育の推進



たとえば・・・ 自然に親しむ

公園や上水沿い等を散歩するだけでも、武蔵野市の生きものを感じられます。自然への親しみにより生物多様性に興味を持つことが、取り組みの第一歩になります。



5、基本方針の内容(7)


【目指すまちの姿③】

生物多様性について多様な主体が
自発的に行動し、積極的に連携するまち



方針Ⅲ

うごく・つながる

- 市民・事業者の活力を借りた
生物多様性の保全の推進 
- 自然環境に関するリーダーシップの
育成の推進
- 近隣自治体や東京都、その他市外
関係者との連携の推進

たとえば・・・ 生物多様性に配慮した
消費行動をする

生物多様性に関するエコラベルの
ついた商品や、農薬を抑えた・使
わない農産物を選ぶことは、生物
多様性に貢献します。また、地域
の農産物を食べる「地産地消」は、
食から地域の生物多様性を考える
きっかけになるとともに、農産物
をつくる農地の保全を消費行動に
よって支えます。



生物多様性の推進とその影響

- 身のまわりの緑化、生きものが増える。
- 自然が豊かになる。生活の質が高まる。都市の魅力の向上、住みたい街へ
- 都会における生物多様性の推進
- 多様性への理解（動植物、人との共存）
- 持続可能な社会のための準備

ひとりひとりにとっての生物多様性とは何か・・・

- 1、策定の背景
- 2、本市の概況
- 3、これまでの生物関連施策
- 4、策定のプロセス
- 5、基本方針の内容
- 6、策定後の動き**

6、策定後の動き

- ・ 市内事業者と生物多様性関連イベントの協力等を実施
- ・ 生物生息状況調査
- ・ 今後も庁内関連部署との連携はもちろん、市民、NPO、事業者等の様々なステークホルダと連携しながら、本方針に基づき、各種施策を展開していく。

生物生息状況調査(H31～H32)

【目的】

- ・ 継続して基礎的データ収集するための調査手法の確立
- ・ 施策（まちづくり等）推進に活用できるデータの蓄積

⇒ 専門調査員による「専門調査」

観察体験会を兼ねた「市民調査」の2本立て

専門調査 概要

専門調査員による調査（事業者はプロポーザルにより選定）

【調査地】概査を踏まえ、
暫定で12カ所選定（右表）
※各ビオトープタイプを
網羅するよう選定

【調査対象】
植物、哺乳類、鳥類、
爬虫類・両生類、昆虫類、
水生動物の6分類
（冬季は鳥類のみ）

調査地	ビオトープタイプ				備考
	樹林	草地	水辺	農地	
①井の頭公園	●	●			都立公園 ※井の頭池は対象外
②成蹊大学	●	●			大学構内
③吉祥寺の杜・宮本小路公園	●	●			
④西久保公園	●	●			
⑤関前公園（関前緑道）	●	○	●		
⑥武蔵野中央公園	●	●			都立公園
⑦亜細亜大学	●	○	●		大学構内
⑧境山野緑地（公園）	●	○			
⑨農業ふれあい公園	○	●	○	●	※耕作地は対象外
⑩千川上水	●	○	●		
⑪仙川（桜堤公園）	○	●	●		
⑫小金井公園	●	●			都立公園

【凡例】●：メインのビオトープタイプ、○：構成ビオトープだがメインではないビオトープタイプ

専門調査 結果

秋・冬調査まで完了



↑ 調査状況

No.	目名	科名	種名	調査地点												
				①井の頭公園			②成蹊大学			③吉祥寺の杜・宮本小路公園			④西久保公園			
				秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春	夏	
1	トンボ目	トンボ科	シオカラトンボ	●										●		
2	トンボ目	トンボ科	マユタテアカネ	●												
3	トンボ目	ヤンマ科	クロスジギンヤンマ													●
4	トンボ目	ヤマトンボ科	オオヤマトンボ													●
5	トンボ目	カワトンボ科	ハヴロトンボ											●		
6	トンボ目	アオイイトンボ科	オオアオイイトンボ													
7	カマキリ目	カマキリ科	オオカマキリ													
8	カマキリ目	カマキリ科	ハラビロカマキリ													
9	バッタ目	バッタ科	ショウリョウバッタ				●									
10	バッタ目	バッタ科	ショウリョウバッタモドキ													
11	バッタ目	バッタ科	コバネイナゴ													
12	バッタ目	バッタ科	ヒナバッタ													
13	バッタ目	オンブバッタ科	オンブバッタ				●			●			●			●
14	バッタ目	キリギリス科	ササキリ	●									●			
15	バッタ目	キリギリス科	ホシササキリ							●						
16	バッタ目	キリギリス科	クビキリギリス							●						
17	バッタ目	キリギリス科	クサキリ													
18	バッタ目	ツユムシ科	サトウタマキモドキ	●												

↑ 調査結果一覧（一部抜粋）

市民調査 概要①

【目的】

身近な生物を知り、生物多様性について考えるきっかけの提供

【日時】

2月16日（土） 13:00～16:00

【場所】

成蹊学園（大学構内）

【対象】

市内在住・在勤・在学の小学生以上



武蔵野市
ちよう ちよう
むさしの鳥・蝶しらべ
冬の鳥を観察しよう
後援：成蹊学園サステナビリティ教育研究センター

日時：2月16日（土）
13:00～16:00
会場：成蹊学園 構内

私たちの身の回りにいる身近な鳥たちを、
専門家と一緒に観察してみませんか。

【対象】市内在住・在勤・在学の小学生以上の方
※小学4年生以下の方は、保護者の同伴をお願いします。

【定員】30名（定員を超えた場合は抽選）

【講師】日本生態系協会調査員

【費用】無料

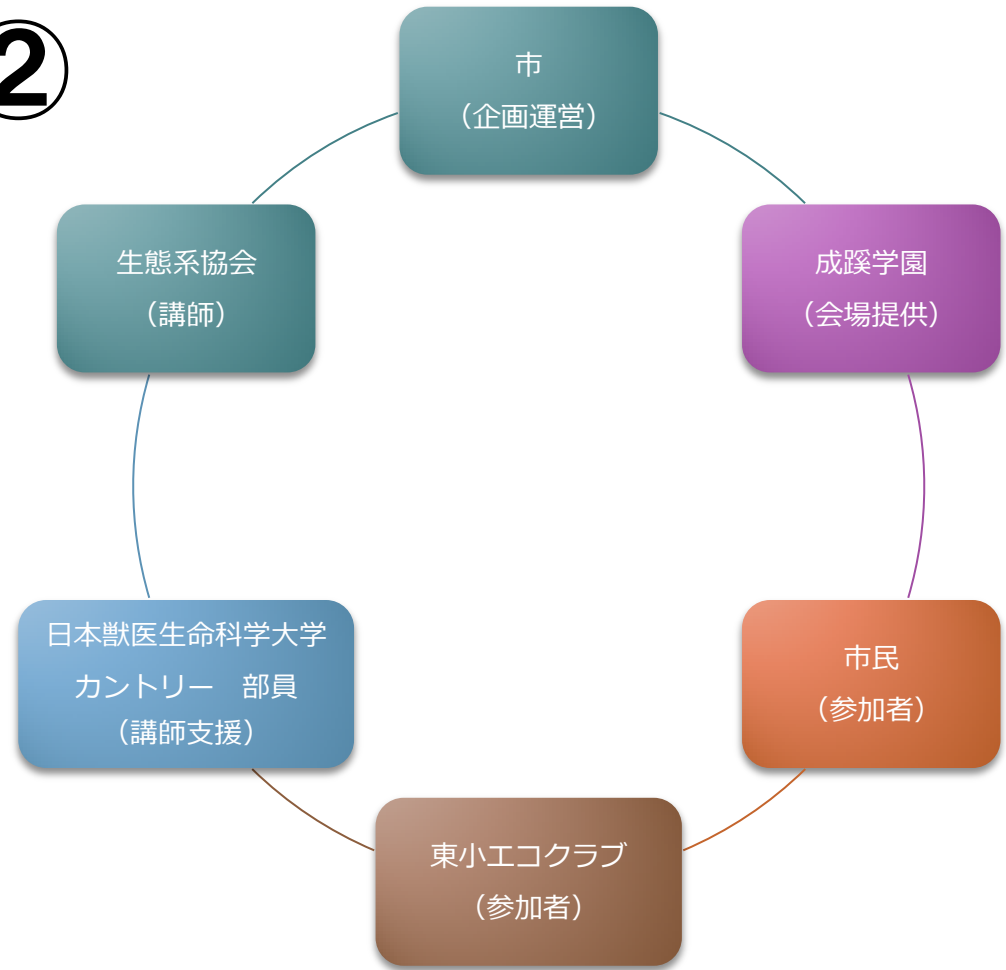
【申込方法】1月30日（水）までに以下の事項を記載のうえ、お申込みください。
①イベント名 ②住所 ③氏名（ふりがな） ④電話番号 ⑤年齢
⑥同伴する保護者氏名（小学4年生以下の方の場合）
■郵送先 〒180-8777 東京都武蔵野市練町2-2-28
武蔵野市 環境政策課 計画係 宛
■FAX 0422-51-9197
■アドレス SEC-KANKYOU@city.musashino.lg.jp

【問合せ】武蔵野市 環境政策課 TEL: 0422-60-1841

市民調査 概要②

調査への多様な
主体の参画

= 多くのステークホルダ
と連携して実施
できたことは成果



市民調査の様子①



↑ 観察の様子



↑ オオタカ

市民調査の様子②



種名	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4
アトリ	●	●	●	●
シジュウカラ	●	●	●	●
キジバト	●	●	●	●
ドバト	●	●	●	●
ヒヨドリ	●	●	●	●
カワラヒワ	●	●	●	●
ツグミ	●	●		●
シメ	●	●		●
ハクセキレイ	●	●		
ハシブトガラス	●	(鳴き声)	(鳴き声)	●
オオタカ	●		●	●
スズメ	●		●	
ハイタカ	●			
メジロ		●	●	●
コゲラ		●		
エナガ		●		
ツミ		●		
ホンセイインコ			(鳴き声)	●
ハシボソガラス				●

上：調査とりまとめ作業の様子
下：調査とりまとめ結果

↑ 調査結果

今後の調査について(スケジュール)

- ・ 専門調査は秋・冬に続き、春・夏も実施。
- ・ 市民調査は観察会のほか、全市を対象とした調査票配布の手法の試行を検討中。
- ・ 専門調査・市民調査に加え、有識者等へのヒアリングを踏まえ、調査手法を確立

	H30				H31									
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
1 専門調査		秋調査			冬調査					春調査			夏調査	
2 市民調査						観察会			観察会		観察会			
3 調査手法の確立	調査を踏まえて手法の検討													手法 確立
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 大学等研究機関、市内NPO団体、市内企業、市内小中高校(私立含む) 等 有識者へのヒアリング </div>														